

事業所名称	法人本部	定員	
サービス種別	法人事務局		
サービスの特色・方針	理事会・評議員会を運営します。 会計・労務等、各事業所に共通する事務機能を担います。 各事業所を横につなげることで法人の機能を高めます。		
社会福祉への取り組み	「認知症にやさしい地域を創る会」への参加、運営事務		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
利用者	■地域における認知症理解の促進 「認知症にやさしい地域を創る会」が主催する市民セミナーの運営事務、運営費の助成金申請	
財務	■管理会計の徹底 ○進捗確認の確実な実施 ○中期的な設備整備・修繕計画の立案	○営業会議 月2回 ○年間収支予測 毎月
業務	■保育所機能の拡充 ○認定こども園への移行を検討 ■内部統制の体制整備 ○公認会計士の支援による事務処理体制の向上	○会計士による月次監査 毎月
人材	■担い手不足への対応 ○働きやすい環境づくり ○多様な人材の確保を目指す ○記録等の効率化の方策を探る	

事業所名称	特別養護老人ホーム 紫雲の園	定員	入 所 90名 短期入所 9名
サービス種別	介護老人福祉施設 (介護予防)短期入所生活介護		
サービスの特色・方針	法人理念である「大慈愛心」を実践するため、困難な事例においても積極的に関りを持ち続けることが、ご利用者の満足、地域社会の満足、職員の満足に加え、法人の永続性の確保や将来世代の満足に繋がるという信念を持ち、職員 1 人 1 人の専門性の強化や施設内のチーム力の向上に努めていきます。		
社会福祉への取り組み	比較的安価な自己負担額で利用できる従来型多床室である事が、地域においては大きな福祉財産であるという事を自覚し、法人減免の活用促進や生活困窮者の受け入れを積極的に行ってまいります。		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
ご利用者	ご利用者が生きがいのある生活を送っていただくために、余暇活動の選択肢を拡充して満足度の向上を目指します。	ご利用者から希望する余暇活動の聞き取りを行い、希望達成率 50%を目指します。
財務	施設が目指す介護サービスを広く知っていただくことにより利用率が向上するように、ホームページ等を利用して施設全体で広報活動を行います。	ホームページを毎週 1 回以上更新します。 【利用率目標】 入所：必達目標 98% 短期：必達目標 65%、最終目標 90%
業務	業務効率の向上により、ご利用者や職員が共にゆとりのある時間を過ごす事が出来るように、業務の組み換え(業務改善)やマニュアルの整備を行います。	現存するマニュアルを年度内に全て更新します。 月平均残業時間の減少や、有給消化率の向上を目指します。 平均残業目標：月平均 2 時間以内 有給消化目標：年平均 10 日以上消化
人材	ご利用者やご家族、職員間での接遇力向上や、他責から自責への意識改革をするために、基本的な身だしなみや挨拶などを徹底し、啓発研修への参加や職責の明確化を行います。	半期に 1 度、ご利用者やご家族に対してアンケート調査を行い、その結果を基に施設内研修や資料配布を行い、サービス向上に繋がります。

事業所名称	浅羽デイサービスセンター	定員	通所介護・介護予防 50名 通所型サービスA 15名
サービス種別	(介護予防、第一号通所事業) 通所介護		
サービスの特色・方針	<p>多数の有資格者を配置し、安心・安全にサービスをご利用いただけます。</p> <p>入浴方法は一般浴・個浴、中間浴、機械浴があり、その方に合った入浴方法で対応させていただきます。レクリエーションは、身近な器具を使って体操をする機能訓練、ゲーム等で楽しみながら体を動かす遊びリテーションとグループに分かれて活動をしています。おやつ作りや調理、制作、野菜作りなどの他に、ボランティアの方による書道や詩吟、絵手紙、フラワーアレンジメントなども行なっています。1ヶ月に3団体以上のボランティアの方が歌や踊りなどを披露していただき、ご利用者様の楽しみにもなっています。</p> <p>ご希望者にはマシンを使用したパワーリハビリも実施しています。</p> <p>ご利用者様が住みなれた家であるべく長く過ごせるように、自立を目指して支援させていただいています。</p>		
社会福祉への取り組み	社会福祉法人利用者負担減免制度があります。		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
ご利用者	<p>■<u>アンケートを実施し、サービス利用満足度を高める。</u></p> <p>○アンケートを見直し、アンケート調査実施する。</p> <p>○サービス内容の見直し。 アンケート集計結果、ニーズを把握。 サービス内容を見直す。</p>	<p>○アンケート見直し ～7月</p> <p>アンケート配布 8月</p> <p>○サービス内容の検討 10月～</p>
財務	<p>■<u>稼働率を90%にする</u></p> <p>○ホームページや通信誌配付による営業活動を行う</p> <p>○ケアマネージャーへの報告</p>	<p>○月間稼働率 【目標値】 90%</p> <p>○居宅事業所へ営業訪問 2回/月</p> <p>○担当ケアマネージャーへの迅速な報告</p>
業務	<p>■<u>効率よく働けるよう日課の見直し、マニュアルの更新</u></p>	<p>○日課を見直しマニュアル作成 ～9月</p> <p>○業務マニュアルの更新 ～3月</p>

<p>人材</p>	<p>■<u>他責でなく自責として捉えられる職員の育成</u></p> <p>■<u>内部研修や外部研修に参加することにより1人ひとりのスキルアップに繋げる。</u></p> <p>○内部研修の実施</p> <p>○外部研修へ参加</p> <p>○QC活動の実施</p>	<p>○職員による内部研修の実施</p> <p>○外部研修は1人につき1回は参加し、研修報告会、研修参加者は行動目標を立て研修期間を設ける。</p> <p>○QC活動を2回/年実施する。</p>
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

事業所名称	浅羽ケアマネジメントセンター	定員	
サービス種別	居宅介護支援事業所		
サービスの特色・方針	<p>特色</p> <p>社会福祉法人として地域の皆様との信頼関係を大切にしながら24時間365日の相談受け付けをしています</p> <p>方針</p> <p>法人理念のもと、ご利用者様等の選択による適切なサービスが提供できるように、公正誠実に業務を行う</p>		
社会福祉への取り組み	<p>○社会福祉法人として地域の皆様との信頼関係を構築していく</p> <p>○介護が必要になっても、安心して住める地域作りの推進</p>		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	<p>■適切なマネジメントの実施</p> <p>○ご利用者様の状態の軽減又悪化の防止に資する。</p> <p>○ご利用者様の視点に立ったマネジメントの実施</p> <p>○社会資源の活用</p>	<p>ご利用者様宅への月1回の訪問</p> <p>ご利用者様宅へ訪問してモニタリングを月1回実施する。</p>
財務	<p>■選ばれる事業所となる</p> <p>○特定事業所加算Ⅱの要件を満たす</p> <p>○法人内事業所との連携</p> <p>○信頼される事業所となるよう努める</p>	<p>28年度給付管理件数目標：130</p> <p>現在130～135件</p> <p>○今年度給付管理数 月：135件</p>
業務	<p>■ご利用者様等の意向に基づき適切なサービスを繋げられるよう連絡調整をする。</p> <p>○介護保険法令の厳守</p> <p>○他事業所との連携</p> <p>○医療サービスとの連携</p> <p>○地域の社会資源の活用</p>	
人材	<p>■専門的知識及び技術の向上</p> <p>○歯科医師・薬剤師を含む医療連携を学ぶ</p> <p>○事例検討での議論活性化</p> <p>○スーパービジョンの実施</p> <p>○アセスメント力を磨く</p> <p>○県ケアマネ協会実施の研修参加</p>	<p>各個人の研修目標に沿って研修計画をたてる。</p> <p>年度末に研修評価をし、次年度への取り組みを検討する。</p>

事業所名称	浅羽地域包括支援センター	定員	
サービス種別	地域包括支援センター		
サービスの特色・方針	浅羽地域包括支援センターは、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、介護・福祉・健康・医療等、様々な面から高齢者やその家族を支えています。どこに相談したら良いかわからない心配事や悩みは、まず地域包括支援センターにご相談下さい。内容に応じて適切な機関と連携し、情報やサービスの提供、関係機関の紹介等を行い、問題の解決に努めます。		
社会福祉への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・自立生活への支援をします ・高齢者の権利を守ります ・包括的・継続的に支援します ・暮らしやすい地域ネットワークをつくります ・その他、情報やサービスの紹介などを行います 		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
ご利用者	地域に出向き地域住民の暮らしやすくなるための声を聞き取る。	全自治会を回り生の声を生きとり住民と共に地域づくりを目指す。
財務	限られた財源の中で効率的に活用する。	計画的な運用を目指す。
業務	<ul style="list-style-type: none"> ・市から示された重点取り組み事項の推進 1・地域ケア会議の開催。 2・介護予防、日常生活支援事業への移行に向けた取り組み。 3・認知症施策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 1・個別課題から地域課題解決に向け、年間10回開催を目指す。 2・「でん伝」体操未実施地域へ啓発、今年度全公会堂での実施を目指す。 3・認知症サポーター養成研修年間8回実施。 <p>オレンジカフェ（一步）の充実に向け、今年度は開催場所を1か所増を目指す。</p>
人材	専門性を生かして、包括としての任務を遂行する。	積極的に研修会に参加し、自己研さんに努める。

事業所名称	ひなた	定員	29名
サービス種別	小規模多機能型居宅介護（介護予防含む）		
サービスの特色・方針	<p>利用者が在宅での生活を継続・維持できるように、また、ご家族が在宅での介護を継続・維持できるように「通い」「泊まり」「訪問」のサービスを組み合わせて臨機応変に対応・援助して行く。</p> <p>そのために、利用者ご本人、ご家族と相談を密にし、寄り添う介護を実践する。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>①利用者の生活地域での溶け込み援助 ②緊急受け入れと入所までのつなぎ ③はいかい SOS 協力事業所 ④認知症に関する学習や啓発（認知症にやさしい地域を創る会）</p>		

今年度の挑戦（平成 29 年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
利用者	<input type="checkbox"/> 元気に通って（利用）もらうために利用者個人ごとの生活・活動テーマを設けて笑顔のある交流・援助をする。 <input type="checkbox"/> 生き生きとしたひなたの利用状況をひなた通信に掲載、話題としてもらう。 <input type="checkbox"/> サービスの提供が過剰にならないようにニーズ（介護度）に応じたサービスの提供を考慮する。	<input type="checkbox"/> 利用者アンケートの実施と公表ができる。 <input type="checkbox"/> 年4回（6, 9, 12, 3月）発行ができる。 <input type="checkbox"/> 個別のニーズと利用者全体のニーズとの調整が上手く回る（実感がある。）
財務	<input type="checkbox"/> 利用者の満足を得る安定した事業継続のために、多くの要介護者に利用してもらう。	<input type="checkbox"/> 月間売り上げ（保険給付と給付外の合計）605万円を目指す。
業務	<input type="checkbox"/> 業務の統一と平均化のために各種マニュアルの見直しと周知・啓発を図る。 <input type="checkbox"/> 働き甲斐のある仕事の実感と共感のために職員間のコミュニケーションの活発化を図る。	<input type="checkbox"/> 内部研修の機会確保と活性化。（内部研修を6回／年開催） <input type="checkbox"/> 業務の様式、役割分担の合理化を図る。

人材	<input type="checkbox"/> 臨機応変、全体の見渡しができる職員を相互に育成して行きたい（ともに成長）。	<input type="checkbox"/> 外部研修（ひとり 1 回以上）への参加 <input type="checkbox"/> 理由不明の退職者を出さない。
----	----------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

事業所名称	ルンビニ保育園	定員	90名
サービス種別	保育所		
保育の特色・方針	ルンビニ保育園は、「健やかな心」を育てるために、お釈迦様の教え、『 仏教 』を基本理念として保育します。 園名の由来にもあるとおり、ルンビニ保育園は仏教保育をする保育園として創設されており、その保育目標を以下の3つとします <生命尊重> (1) めぐみの心を持ち、生命を尊重する子に育てる。 <修善> (2) 善悪をみきわめ、絶えず正しい方に進む子に育てる。 <協調> (3) 自分の立場を考え、他と協調できる子に育てる。		
社会福祉への取り組み	卒園後の子ども達ともコミュニケーションを取るよう務め、成人するまでの永きにわたり育ちを見守ります。		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
利用者	■保育の標準化 ○どの職員が係わっても同じ手順、同じ方法で子どもの生活に携わります。 ○子どもを中心においた保育を模索します。 ○子どもの育つ力を後押しします。	○施設内研修の内容に、保育のマニュアル化を織り込み、保育の言語化すすめます。
財務	■こまめな節約を心掛けます ○入所可能児童数が定員数とほぼ同数であるため、児童の安全面に配慮しつつその他の部分で節約に務めます	
業務	■ホームページの作成と活用 ○園の情報発信 ○利用希望者の増加 ○就職を検討する学生へのアピール ■保育所保育指針改定 ○保育所保育指針の改定に併せ、内容の理解と実現に向け職員相互に読み合わせをすすめます。	○現在作成中のホームページの公開を急ぐと共に、その内容の充実を図る
人材	■職員のスキルアップ ○保育士のキャリアパス制度が本格始動するまでに、各種外部研修に参加しやすい人員配置を計ります。	○昨年同様、合同就職説明会等には可能な限り参加し、ルンビニ保育園の情報発信に務めます。

事業所名称	ルンビニ第二保育園	定員	90名
施設・事業所類型	保育所		
保育の方針	乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う最も重要な時期です。保育の専門性を活かし乳幼児期を安全に保護育成していきます。又、乳幼児期に身につけなければならない基本的な生活習慣や必要な知識の芽生えを促すため豊かな体験と環境を設定しています。豊かな体験を通して子ども同士のつながりを深める中で人間形成の基礎(学びの土台)を育てていきます。		
保育の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自園給食と食育 ・ 年齢別保育と縦割り保育の融合 ・ 体育指導、音楽指導、マーチングバンド、絵画造形、英語教室、茶道 		
社会福祉への取り組み	<p>地域子育て支援拠点事業の経営</p> <p>一時預かり保育事業の経営</p> <p>相談窓口の開設</p>		

平成29年度の取り組み										
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）								
運営と業務	<p>■<u>広報活動の強化と運営の充実</u></p> <p>○地域活動への参加</p> <p>○ルンビニしんぶん、ホームページ</p> <p>■<u>防災対策の見直し</u></p> <p>○南海トラフ大地震防災マニュアルの見直し。</p> <p>○防災設備の確認(屋外緊急時の放送設備の設置)</p> <p>○園外保育時の避難場所の確認</p> <p>○防災訓練実施方法の検討</p>	<p>○ホームページの内容の充実と更新</p>								
経営	<p>■<u>定員充足率は120%を限度とする</u></p> <p>○3歳児における「花ビラ」の受け入れを考慮し、0, 1, 2歳児の受け入れの体制を検討する。</p>	<p>○月間平均平均児童数</p> <p>【現状】 107名</p> <p>【目標】 108名</p> <p>○新入園児</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>4月</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>2名</td> </tr> </table>	4月	18名	5月	1名	8月	1名	9月	2名
4月	18名									
5月	1名									
8月	1名									
9月	2名									

<p>子どもと保護者</p>	<p>■ <u>子育てのサポートセンターとして機能する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育参観、参加をして子育ての楽しさを知る支援をする。 ○絵本の読み聞かせを推進(0歳児からの絵本の貸し出しを行う。) ○保護者へのアンケート調査をする 	<ul style="list-style-type: none"> ○気軽に相談できる「場」 ○第三者評価への取り組み
<p>職員</p>	<p>■ <u>職員のスキルアップと働きやすい職場づくりを目指す。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育士のキャリアパスの構築に向けて研修計画の作成を見直す。 ○保育士の業務における ICT 化を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員個別の研修実績と計画を作成する。 ○視野を広げて自ら学ぶ。

事業所名称	ルンビニ保育室 花びら	定員	12名
サービス種別	小規模保育事業所		
保育の特色・方針	<p>ルンビニ保育室『花びら』は、国の勧める保育新制度の中で新しく誕生した小規模保育事業という形態の施設です。</p> <p>これまでの保育園と違い、対象年齢は0歳～満3歳まで。利用人数は最高19名まで。これらの特徴を最大限に活かし、完全個別対応の担当保育を行います。尚、保育理念、保育方針はルンビニ両園に準じます。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>開設初年度と言うこともあり、まずは地域の方に施設を認識してもらうべく、自治会奉仕作業などにも参加させていただきます。</p>		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
利用者	<p>■個別対応</p> <p>○一人一人の家庭と育ちに寄りそい、個々にあった保育を提供します。</p> <p>○保護者の相談に乗りそれぞれにあった助言と必要な援助を行う様務めます。</p>	<p>○生活リズムの違いを把握し、子ども達にとって無理のない施設生活を提供する。</p>
財務	<p>■必要物品の見極め</p> <p>○開設初年度であるため、必要物品も多いが、ルンビニ両園から借用するなど、児童の生活面に支障のない中で節約に務めます</p>	<p>○4月当初入園児童数10名</p> <p>0歳児 1名</p> <p>1歳児 4名</p> <p>2歳児 5名</p> <p>目標12名</p>
業務	<p>■個別対応と担当保育の確立</p> <p>○個別対応未経験の職員に対する指導の徹底</p> <p>○施設内外の危険箇所の洗い出し</p> <p>○保護者と地域への情報発信</p> <p>■保育所保育指針改定</p> <p>○改定保育所保育指針の内容への理解</p>	<p>○個別対応の理想的な在り方について見識を高める。</p> <p>○外的要因による子どもの怪我ゼロを目指します。</p>
人材	<p>■職員のスキルアップ</p> <p>○保育士のキャリアパス制度が本格始動するまでに、各種外部研修に参加しやすい人員配置を計ります。</p>	<p>○ルンビニ保育園との連携体制を確立し、研修に出られる機会をつくる。</p>

